TECHNIX ADVANCED SMART CARTRIDGE

TASC for KAWASAKI Ninja250/400

18 年式（EX250/400）対応

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高機能カートリッジフォークへ Ninja250 をアップグレード！

TASC 内部イメージ
（写真は MT-09）

TASC for KAWASAKI Ninja250/400 '18- ￥129,800（税抜¥118,000）TASCNINJA250

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ￥8,580（税抜¥7,800）
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール（ダストシール、オイルシールは SKF）

ノーマルフォークスペック

- ダンピングアジャスター 非装備
- ダンパーロッド式

▶

TASC フォークスペック

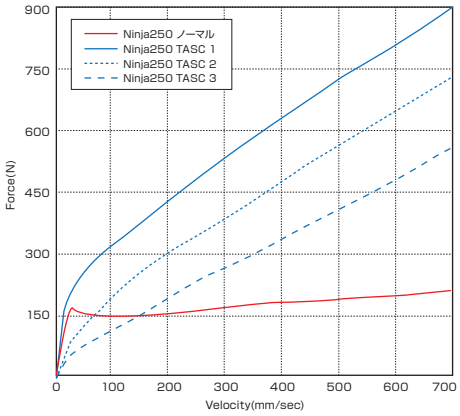
- 伸側 ダンピングアジャスター
- 圧側 ダンピングアジャスター
- カートリッジ式 高性能積層シム
- 専用 フォークスプリング

もう一つ先の Ninja250 へ！ 狙ったラインを狙い通りに操る安心感を

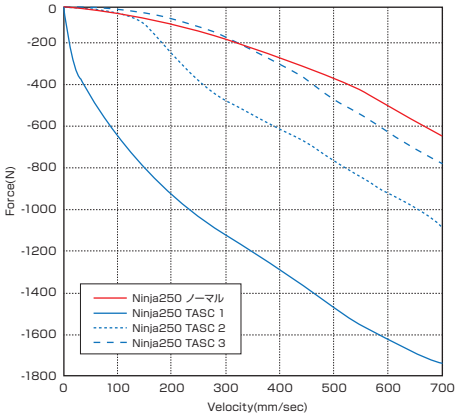
純正フォークには減衰力調整機能がないものを採用する Ninja250。通常の使用位置がストローク後半のためストロークが少なく、奥で止まる感じがある。
そのためフロントタイヤに荷重がかけづらく、すぐに ABS が作動してしまい接地感が乏しい。
そこで、Technix ではフロントフォークの弱点を補うべく TASC キットを Ninja250 用に新たに開発。調整機能付きトップキャップを組み、スプリングレートを適正化。
積層シム型バルブ システムを用い完全カートリッジ化を図る。片側をコンプレッションダンパー、もう片方をリバウンドダンパーの左右 独立調整式システムに大きく変更。
ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行まで幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

Ninja250 TASC コンプレッションの比較例



Ninja250 TASC リバウンドの比較例



ストリートセット 低速、低荷重でも乗り心地を損なわないようにプリロードを抜き小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。
フロントタイヤが路面に留まるよう伸、圧とも減衰力を若干効かせ気味にセットアップ。

ワインディングセット 積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にコンプレッション・リバウンド共に強めにセットし、
路面への接地感を上げる。ストローク中間域でも減衰をしっかり効かせ安定した車体姿勢で ライディングができるようセットアップ

サーキットセット フルバンク状態でもフロントタイヤを路面に留まらせる為にリバウンドも強めにセット。ロースピード域での減衰力を効かせる設定で、フロントタイヤにしっかりと荷重を掛け、
積極的にライダーがマシンを曲げていける仕様。突き出し量を増やすことで応答性もよくなり、サーキット走行で「攻める」走りをするライダー向けのセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON　R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。
同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

racing suspension Technix
有限会社テクニクス

［ご注意］：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。